

運営要領

慶應ラグビースクール運営要領

目次

慶應ラグビースクール	3
1. World Rugby ラグビー憲章	3
2. 塾蹴球部憲章	3
3. 慶應ラグビースクールの創設について	4
4. 慶應ラグビースクールの目的	4
5. スクールとしての目標	4
6. スクール各学年の目標	5
7. スクールタイムテーブル(通常時)	5
8. 指導の要点	5
慶應ラグビースクールの運営規則	6
1. 入校資格	6
2. 保護者（スクール生）との連絡・各種照会について	6
3. 活動時間	6
4. 集合および解散	6
5. 活動中止（延期）の決定	7
6. ケガ・体調不良等発生時の対応	7
7. 飲食・寄り道	7
8. 身だしなみ	8
9. 練習用具（持ち物）	8
10. 保険について	8
11. 禁止事項・注意事項	8
12. 罰則	9
13. 指導体制	10
14. B A H D 防止宣言	10
慶應ラグビースクールの安全管理体制	11
1. ドクター	11
2. 傷害保険の手配	11
3. 保護者との連携と事故発生時の対応	11
4. 災害発生時の対応（安全管理体制参照）	11
5. 緊急誘導経路	12

慶應ラグビースクール運営要領

試合応援マナーおよび敷地内・グラウンドに関するお願い	13
1. 応援マナー	13
個人情報の取り扱いについて	14
個人情報取り扱い要領	15
2024 年度 指導陣	16

慶應ラグビースクール

1. World Rugby ラグビー憲章

2009 年、ワールドラグビーのメンバー協会では、ラグビーが持つ人間形成に資する特徴として「品位、情熱、結束、規律、尊重」を示しました。これらの特徴は、いまでは総じて「World Rugby Value(ワールドラグビー・バリュー)」と呼ばれており、ラグビー独自の特性と理念をフィールドオブプレーの中でも外でも守っていくための手引きである「ワールドラグビー・ラグビー憲章 (The World Rugby Playing Charter)」の一部を構成するものとなっています。

「品位・情熱・結束・規律・尊重」の 5 つの言葉は、選手、指導者、トレーナー、メディカル、レフリー、スタッフ、関係者、ファンなど、ラグビーに関わる全ての人々に共有してほしい価値観です。全員が心を一つに一体感を持つ、すなわち One Team となるための最も基本となる考え方、価値観です。

「品位」: INTEGRITY

品位とは、礼儀や節度、人徳、気高さに富むさまを言います。作法やマナーは国や習慣、文化などによって違いはありますが、ラグビーと言う競技全体の基盤を成すものです。

「情熱」: PASSION

ラグビーには、感動があります。試合前のロッカールームで円陣を組む選手、ピッチで国歌を斉唱する代表選手、彼らは、何としてもこの試合に勝ちたい、試合に出られない仲間のため、スタンドのファンのため、支えてくれた家族のため、そんな思いが重なって、涙を流していることも少なくありません。

「結束」: SOLIDARITY

ラグビーは集団競技です。自分一人の力では何もできません。いつ・どんな場面でも仲間の力が必要です。ラグビーは体と体がぶつかり合う激しい球技です。肉体的にも精神的にもきつい、だからこそ、同じ時間を共有した大切な仲間との結束は非常に固いものになります。

「規律」: DISCIPLINE

スポーツ競技はいくつもの規則によって成り立っています。規律は、ルールだけでなく、人としての定め、集団の秩序なども含みます。

「尊重」: RESPECT

自分がトライをしたケース、そのトライは自分の力だけではなく、仲間の努力が結集したものです。それゆえ、ボールを奪い、パスをつないでくれた仲間を尊重します。それだけでなく、悔しい思いをしている相手選手をおもんばかる気持ちから、相手選手に対して喜びをアピールしたり、過度に喜ぶような行為は慎んでいます。

2. 塾蹴球部憲章

塾蹴球部は、

「日本ラグビーの始祖たる

矜持と責任において、
独立自尊たる紳士を育む」

塾蹴球部希求三箇条

- 1、「身心知、極限の鍛錬」
- 2、「切磋琢磨からの友情」
- 3、「社会の範たる品格」

3.慶應ラグビースクールの創設について

- (1) 塾体育会から黒黄会（体育会蹴球部 OB 会）への依頼
塾体育会の大会として、一貫教育校を対象としたスポーツ一貫教育(指導)の実践。
- (2) 黒黄会としての役割
塾体育会は各部の OB 会に運営を依頼している。黒黄会としても一貫教育校の位置づけである高校、中学、幼稚舎・横浜初等部、ラグビースクールの支援を行う。
- (3) 幼稚舎における慶應ラグビースクールの位置づけ
幼稚舎は慶應ラグビースクールを黒黄会の運営として承認している。
幼稚舎ラグビー部とは、相互理解のもと共存共栄を目指しているが、明確に区別されている。

4.慶應ラグビースクールの目的

慶應ラグビースクールは、慶應義塾体育会からの要請に従い、慶應義塾一貫教育に則った体育会における一貫指導体制構築の初期段階として、慶應義塾幼稚舎および横浜初等部生にラグビーの普及および指導を行う。慶應ラグビースクールはスクール生がラグビーの「楽しさ」を理解し、「基礎体力の充実を図り」、ラグビーから学ぶ「規律・協調性」を身につけることを指導の目的とする。

- (1) 幼稚舎・横浜初等部生にラグビーの楽しさ・魅力を教える。
- (2) ラグビーというスポーツを通して、子供達の運動能力の向上を目指す。ラグビーは全身スポーツであり、多くの運動要素を持つ。
- (3) ラグビースクールを通して規律、協調性などを修得させる。
- (4) 大学までラグビーを続ける環境作りをする。大学の人材確保と底辺のレベルアップにより、慶應ラグビー全体の強化につなげる。
- (5) 指導者を磨く。人間として、また指導方法もレベルアップさせる。

5.スクールとしての目標

- (1) 子供達がラグビーの楽しさを知れるように最大限努力し、一人でも多くの児童を受け入れる。
- (2) 挨拶の励行とともに、規律およびルールをしっかり守らせる。
- (3) 指導体制を充実させ、指導内容の向上を図る。
- (4) 怪我、事故などゼロをめざし、予防を徹底するため、可能な限りドクターにも参加してもらう。
- (5) 幼稚舎・横浜初等部ラグビー部員が全員入校することを目指す。各校ラグビー部員への勧誘・干

渉は行わない。

- (6) 卒業生が全員中学でラグビーを続けることを目指すが、他の分野への移行・転換を妨げない。
- (7) 保護者にも一緒にスクールの運営に協力してもらうことがある。

6. スクール各学年の目標

5・6年基礎技術の習得 タックル、パス、キック、コーリング、フィットネス

- (1) ラグビーチーム作りをする。
- (2) 幼稚園および横浜初等部ラグビー部と指導内容を一貫させる。
- (3) 中学と指導内容を一貫させる。

3・4年基礎技術の習得 タックル、パス、キック、コーリング、フィットネス

- (1) ミニラグビーの試合が出来るようにする。
- (2) ぶつかっても怪我をしない体と身のこなしを身につける。

1・2年基礎技術の習得 タックル、パス、キック、コーリング

- (1) 運動能力(特に運動神経、反応)の向上を目指す。
- (2) 保護者とラグビーと一緒に楽しむ。
- (3) ミニラグビー／タッチフット／(タグラグビー)が出来るようにする。
- (4) ぶつかっても怪我をしない体と身のこなしを身につける。

7. スクールタイムテーブル(通常時)

- 7時45分 グラウンド集合
- 7時50分 指導陣打ち合わせ
- 8時00分 朝礼、練習開始
- 9時55分 練習終了、体操、終礼、解散、

8. 指導の要点

- (1) ルールを守らせる。詳細は運営規則に記載
- (2) コミュニケーション能力をつけさせるため、自分で判断させ声を掛けさせる。
パス、右、左、〇〇君などの声を必ず出させる。掛ける言葉とタイミング
- (3) ラグビーに必要な基本姿勢を身につけさせる。
ハンズアップ、チンアップ&アイズ・オープン、パワーフット、シュラッグ 等
- (4) ON、OFF を明確にする。練習中にジャレている者に対しては「今、練習中」と明確に。
- (5) ふざける子供は一人対一人ではっきり注意をする。ただ、怒鳴ってもだめ。
- (6) 怪我(特に頭)した子供がいたら必ず総務コーチに報告のこと。保護者に連絡する。

慶應ラグビースクールの運営規則

1.入校資格

慶應ラグビースクールの入校資格者は慶應義塾幼稚舎および慶應義塾横浜初等部の児童とします。
ただし、入学試験に合格した者は両校入学前であっても体験入校を認めることがあります。

2.保護者（スクール生）との連絡・各種照会について

- (1) 保護者（スクール生）との本スクール連絡・各種照会の窓口は総務担当コーチとします。
- (2) 連絡方法は、ホームページまたは E メールを原則とします。なお、緊急を要する場合は電話を使用します。
- (3) 本スクールからの以下の連絡については、総務担当コーチから保護者あてにホームページおよび E メールにて連絡します。
 - ・「活動中止（延期）」（「4.活動中止（延期）の決定」参照）
 - ・「事務連絡全般」
- (4) ケガ発生時の対応は、後述します（「5.ケガ発生時の対応」参照）
※ 総務担当・各学年コーチは「11.指導体制」に記載しています。

3.活動時間

- (1) 年度始めに設定した期間の毎週土曜日 8 時 00 分から 10 時 00 分までとします。ただし、大学ラグビー部ほか一貫教育校ラグビー部のグラウンド使用スケジュールによっては、事前通知をもって変更することがあります。
- (2) 練習用具は高学年を中心に全員で準備・片付けをしますが、特に片付けは各学年で責任をもって行います。
- (3) 活動時間内は、担当コーチの許可なくグラウンドから出てはいけません。
- (4) 練習中は担当コーチの合図に従って速やかに行動してください。
- (5) 練習後は片付け忘れた練習用具が無いか確認を行ってください。
- (6) 試合や遠征をする場合は、別途、保護者あてに事前に通知します。

4.集合および解散

- (1) 集合は 7 時 45 分、解散は活動終了後とします。場所はグラウンドにて、開始は校長の合図、終了は各学年担当コーチによって行います。なお、出席の確認はグラウンド入場時に行います。
遅刻した場合は、総務担当コーチに出席の旨および遅刻理由を申告した後、準備運動をしたのち、学年担当コーチの承認を受けて合流となります。早退は事前に保護者からの申告があった場合のみ認めます。
- (2) 上記 (1) の通り、グラウンドでの集合・解散を原則とします。すなわちグラウンドまでの往復は自己責任となります。

- (3) グラウンドまでの往復は、いずれの場合も、保護者同伴を原則とします。ただし、自己責任において保護者同伴なしでの集合・解散を認めます。
- (4) グラウンドには専用駐車場はありません。
- (5) グラウンドへの出入りは、決められた出入口のみとします。出入りの際は、「グラウンドおよび日本ラグビー発祥記念碑」に一礼することを徹底してください。
- (6) 生徒・保護者・指導陣どうして会った時、別れる時には挨拶を心がけてください。

5.活動中止（延期）の決定

- (1) 幼稚園および横浜初等部の学校行事の都合により、活動を中止する場合があります。
- (2) 学級閉鎖の場合は、登校再開日の前日まではスクールへの参加を禁止します。
- (3) 天候により活動を中止する場合があります。（例えば、台風接近時）
雨の場合の判断基準は、活動日当日の活動開始 2 時間前（通常午前 6 時 00 分）の、横浜地方の天気予報（「気象警報」が発令されていないこと）と最高気温予想（具体的には 20℃）を勘案し決定します。冬季、雪の場合は別途判断します。
- (4) 中止の場合の連絡は、ホームページ（バナー）または LINE グループチャットにて総務担当コーチが発信します。電話でのお問い合わせはご遠慮願います。

6.ケガ・体調不良等発生時の対応

- (1) 活動時間中にスクール生にケガが発生した場合、学年担当コーチは直ちに校長、副校長、または総務担当コーチに連絡し下記の対応をとります。また、スクール生自身も異常を感じたら、直ちに学年担当コーチに申告してください。
 - ① 擦り傷、切り傷、打撲等ラグビースクールで用意した薬品等で対応できるケガはその場で処置します。
 - ② 熱中症の疑いがある場合は、直ちに活動を中止させ、回復に努めます。
 - ③ 頭部や頸部といった重要な箇所の怪我については、可能な限りドクターの指示を受け、場合によっては救急車を要請し病院に行きます。
 上記、②および③の場合は、総務担当コーチが保護者に連絡をし、状況を報告した上で以後の対応を協議します。特に③の場合で、頭部を打ち病院で「脳震盪」の診断が下された場合、以後 3 週間はプレーすることを禁止します（日本ラグビー協会通達による）。
- (2) 活動時間以外（往復途上や練習後の発症など）の場合は、各自で対処したうえで総務担当コーチまでお知らせください。
- (3) 上記（1）・（2）のケガで入院または通院をした場合は、総務担当コーチを通じて傷害保険の請求を行います。

7.飲食・寄り道

- (1) 自宅からの往復に時間がかかる場合は、ご家庭で昼食を準備し持たせてください。練習終了後グラウンド内スタンドで食べさせます。
- (2) 寄り道（遊技場・ファストフード店・コンビニエンスストア等）は、保護者同伴で私服の場合のみ

とします。なお、ゴミの処理は各自で適切に行ってください。

8.身だしなみ

- ・爪はラグビーのプレーが出来るように手入れしてください。
- ・シャツの裾はパンツの中に入れるようにしてください。
- ・ストッキングは上げて履いてください。

9.練習用具（持ち物）

- ・練習用具（チームウェア）等は購入を斡旋します。（購入手順書あり）
- ・すべての個人所有物には記名をお願いします。（ただし、保安上の観点から人目につかない箇所をお願いします。）
- ・チームウェアで往復する際は、**必ず上着を着て名前を隠してください。**リュックだけでは隠れませんのでご注意ください。
- ・練習終了後は各自で持ち物を確認し、忘れ物がないようにしてください。**グラウンド内の忘れ物は倉庫にて一定期間保管後に廃棄します。紛失・破損は責任を負いかねます。**

<持ち物>

- （1）KRS スタイル（ラグビージャージ・パンツ・ストッキング・ヘッドキャップ・運動靴）・紅白帽子（夏季）
- （2）タオル・着替え・水筒
 - ※ 1 チームウェア以外のウェアを各自で用意する場合は、金具（ジッパー等）の無いものを着用してください。
 - ※ 2 履きなれた運動靴（トレーニングシューズか固定式スパイク）をご用意ください。
 - ※ 3 日除けの紅白帽子は配布いたします。
 - ※ 4 ボール、ビブス、マーカー、薬箱等の練習用具はグラウンドの倉庫に保管しています。

10.保険について

申し込み手続き・会費の入金を行い、正式に入校したスクール生はスポーツ安全保険に加入します。ただし、体験入校の場合は保険に加入していませんので、ご家庭の責任において傷害等への対応をお願いします。

11.禁止事項・注意事項

- （1）グラウンドへのアクセス時
 - ① 児童のみでの寄り道。
 - ② グラウンド入口での自動車の乗り降り（自動車の通行の妨げ、乗降時の事故防止）。
 - ③ 路上駐車、その他交通規則違反。
 - ④ 余程の急や必要性を要する場合を除き、幼少時代の足腰鍛錬のために極力バスを使わず、歩いてグラウンドまでの往復を推奨します。（禁止はしません）
- （2）飲食

- ① 自宅－グラウンド間での食べ歩き、飲み歩き。
- ② グラウンド内でのガム（人工芝に落とした場合、損害が発生するため）および炭酸飲料（発育期に適さないため）の飲食、ならびに練習前・練習中のお菓子の喫食。
- (3) 遊び道具の持参
グラウンド内、グラウンド往復時のポータブルゲーム・カードゲーム等、遊具の使用。注意をしても聞き入れられない場合は、取り上げることもあります。
- (4) グラウンド内
 - ① 所定のスタイル（KRS スタイル）以外でのピッチへの立ち入り。（ただし、スクールスタッフ指示の場合は除く。）
 - ② 取替式スタッドシューズの使用。
 - ③ グラウンド脇のトレーニング器具の使用（ウェイト場や鉄棒や平行棒等）。
 - ④ 喧嘩・悪ふざけ。（言語道断です。両成敗で厳しく指導します。）
 - ⑤ 人工芝保護・維持のため、入場はスニーカー着用のみとさせていただきます。※ブーツ・革靴はご遠慮ください。
 - ⑥ ベビーカー他乗り物は人工芝上に持ち込みはご遠慮ください。
 - ⑦ トイレはグラウンド入口右手か、学生寮の1 階右側面にありますのでご利用ください。

1 2 .罰則

禁止事項について違反を繰り返し、校長をはじめとしたコーチ陣から再三にわたり注意をされても守られない場合は、以下の対応を行うことがあります。

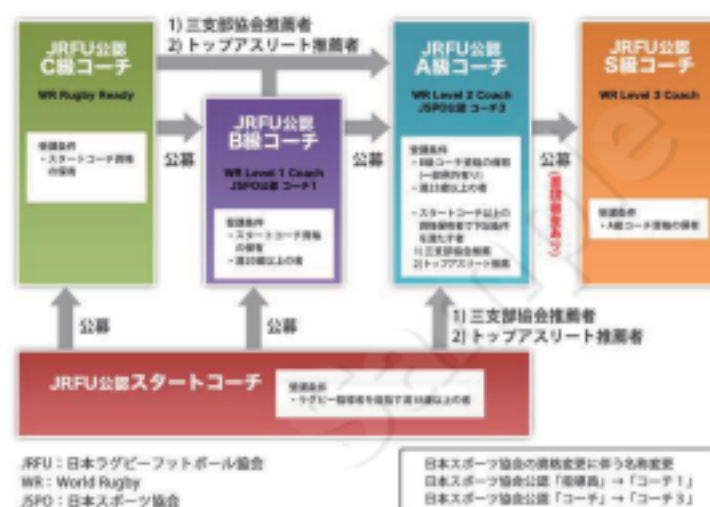
- (1) ピッチからの退場
- (2) 当日の活動停止
- (3) 当面の間の活動停止
- (4) 退会

<最後に>

ラグビーはルールの遵守をととても大切にするスポーツです。慶應ラグビースクールは幼稚舎・横浜初等部の規則に則ったルールで運営されております。ルールを守ってスクールの活動を思い切り楽しんでください。

1.3.指導体制

- (1) 指導者は、黒黄会（体育会蹴球部 OB 会）または KRC 会員とします。日本協会公認のコーチ資格（下図参照）・レフェリー資格取得を原則とします。
- (2) 指導は学年ごとにカテゴリー分けを行い、担当コーチ（社会人および大学生・高校生）を配し指導します。（学生はコーチ補助の位置付けです。）
- (3) 学年担当コーチは、活動中は常にスクール生の水分補給を心掛けます。
- (4) 低学年においては、保護者による学年担当コーチのサポート、アシスタントも積極的にお願いします。



1.4.BAHD防止宣言

慶應ラグビースクールは不適切な指導の防止・抑制するためにBAHD防止を宣言します。指導現場での当該行為の撲滅、発生時の適切な対処、再発防止に向けた取り組みを積極的に推進します。

B:「Bullying (いじめ)」、A:「Abuse (虐待)」、H:「Harassment (いやがらせ)」、
 D:「Discrimination (差別)」

慶應ラグビースクールの安全管理体制

慶應ラグビースクールは「安全を最優先」の基本方針に則り、全員が JRFU のコーチ資格を取得して指導を行っています。

1. ドクター

慶應ラグビースクールのチームドクターは現在配置していません。スクールの活動中に不慮の事故が発生した場合、応急処置として大学トレーナーとの連携を行い、速やかに保護者に連絡します。なお、医療機関を受診した際には保険金を請求しますので、総務担当コーチにご連絡ください。保険が適用された際には保険金を返還します。

2. 傷害保険の手配

(1) スクール生

ラグビースクール活動中（往復途上を含む）を対象にした普通傷害保険に全員が加入しています。一人当たりの補償金額は以下のとおりです。

死亡・後遺障害	1, 000万円
入院日額	5千円
通院日額	3千円

(2) コーチ

「賠償責任保険」に加入しています。

賠償責任保険 3億円（一事故限度額）

3. 保護者との連携と事故発生時の対応

(1) 健康状態申告書の提出

毎年4月の開校時に健康状態についてアンケート形式にて申告してもらい、申告事項があった場合は、チームドクターの助言を得て入校可否を判断しています。また入校を否決しない場合でも、その申告内容を担当コーチには既往症として報告し、指導上注意を払っています。

(2) 事故発生時の対応

慶應ラグビースクール運営規則「5.ケガ発生時の対応」のとおりです。校長、副校長、もしくは総務担当コーチは各学年コーチから受傷報告を受け、軽症の場合でも練習終了後に当該スクール生保護者に対して「ケガの状況とその処置」について、逐次報告しています。

4. 災害発生時の対応（安全管理体制参照）

(1) 日吉での避難場所（日吉ではコーチが対応いたします）

第一次避難場所：グラウンド

第二次避難場所：日吉大学校舎

地域住民の広域避難場所にも指定されています。水・食糧等の備蓄は十分にあります。

※グラウンドにて被災した場合は、グラウンドにて一旦待機し、その後、隣接する大学体育会寮にいる体育会部員と一緒に日吉大学校舎へ移動します。また、日吉駅とグラウンド間の移動中に被災した場合は、どちらか近い方に避難してください。

(2) 日吉駅と自宅間の移動中（電車・バスに乗車中）

日吉校舎・自宅・幼稚舎・横浜初等部のうち、近くて早く移動できる場所へ避難するよう「ご家庭ごと」に話し合い徹底してください。

5. 緊急誘導経路

2011年に発生した東日本大震災の経験から、災害時の緊急誘導経路を定めています（下図）。災害発生時には所定の緊急誘導（補助）経路にてグラウンド-日吉駅間の誘導を行います。

【緊急誘導経路図】



試合応援マナーおよび敷地内・グラウンドに関するお願い

1. 応援マナー

- (1) 所定のコーチ以外の方が、試合中、プレイヤーに対して指示・助言を行うことはご遠慮ください。
※コーチ以外の方の「応援・声援」は、「がんばれ」「よくやった」等の発言にとどめていただきますようお願いいたします。
- (2) 試合中レフリーの判定に対し異議を唱えることはご遠慮ください。
※明らかなミスジャッジ等が生じた場合には、代表コーチがレフリーに対して発言するようにしてください。
- (3) 応援マナーの目的
 - ① 試合中に応援サイドが過度にエキサイトすることを避ける。
 - ② プレイヤー自身にプレーの選択肢を判断させることを重視する
 - ⇒プレイヤーが指示されたことだけしかできなくなる（自分で判断できなくなる）ことを避ける。
 - ⇒過度に指示されることにより、プレイヤーが委縮してしまうことを避ける。

個人情報の取り扱いについて

慶應ラグビースクールは、個人情報を適正に取り扱い、個人情報保護の姿勢を明らかにするために、以下の通り、「個人情報保護基本方針」を制定しています。個人情報を安全に保護し、利用できるよう保護者の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

慶應ラグビースクール個人情報保護基本方針

慶應ラグビースクール（以下、「スクール」といいます。）は、「スクール生がラグビーの「楽しさ」を理解し、「基礎体力の充実を図り」、ラグビーから学ぶ「規律・協調性」を身につける」目的に基づき、個人の人格の尊厳に由来するプライバシーを擁護し、個人情報の保護に関する法律（以下、「個人情報保護法」といいます。）が定める個人情報を適正に取り扱うため、本基本方針を定めます。

スクールは、個人情報保護法及び関係諸法令に定められた内容を遵守することはもとより、個人の人格尊重の理念に基づき適正と考えられる方法で個人に関する情報を取り扱います。

また、コーチその他スクール活動に従事する者（以下、「指導者」といいます。）は、個人に関する情報を適正に取り扱うことが個人の人格尊重の理念に由来するものであることを強く自覚し、個人に関する情報の取扱いに当たっては、個人情報保護法及び関係諸法令、並びにスクールが定める規則を遵守するものとします。

上記に基づき、スクールは以下の取り組みを行います。

* 1. 個人情報の利用と安全管理

スクールは、スクールが行う諸活動を遂行するに当たり、利用目的をできる限り特定し、その利用目的の達成に必要な限度で個人情報を適正に利用し、諸活動の円滑な遂行に当たります。

スクールが取得した個人情報については、その安全管理のために必要かつ適切に組織的、物理的、ないし技術的な措置を講じます。指導者にこれを取り扱わせるに当たっては、その安全管理が図られるよう、当該指導者に対して必要かつ適切な監督を行います。

* 2. 個人情報保護取り扱い要領の制定

スクールは、個人情報を適正に取り扱うため、本基本方針の内容を具体化するものとして、「個人情報保護取り扱い要領」を制定します。スクールおよびその指導者は、当該要領に準拠して、個人情報を取り扱います。当該要領およびその関連諸規則については、社会情勢の変化、運用実態を踏まえて、適宜改正を行います。

* 3. 個人情報保護の組織・体制

スクールは、個人情報を適正に取り扱うため、以下のとおり、個人情報を保護するための組織・体制を整備します。

- (1) スクールは、校長が指名する総務コーチ 1 名を、個人情報保護統括管理責任者に任命します。
- (2) スクールは、個人情報の保護にかかわる重要事項について審議するため、「個人情報保護委員会」を設置し、今後発生することが予想される諸問題に適切に対応します。
- (3) スクールは、個人情報の取り扱いに関する相談・苦情に対して適切かつ迅速に対応するため、相談・苦情対応窓口として個人情報保護管理担当を設置します。

（個人情報取扱責任者の氏名）

慶應ラグビースクール 校長 島田 雅夫

（個人情報の取り扱いに関する相談・苦情の申出先）

個人情報保護管理担当 鈴木 健之

E-mail : keiorugbyschool@gmail.com

個人情報取り扱い要領

スクール生、保護者の方々にかかわる個人情報の取り扱いは以下のとおりとします。

1. スクールが取り扱う児童等（卒業後を含みます。）の個人情報の具体的な内容は、次の通りです。
 - ① スクール生の氏名・住所・電話番号・生年月日・E-Mail アドレス等
 - ② 保護者の氏名・住所・電話番号・児童等との続柄等
2. 個人情報を取り扱うに当たっては、あらかじめ利用目的を特定し、明示いたします。特定した利用目的以外には利用しません。また、利用目的を変更する場合は、本人に通知するか、スクールのホームページへの掲載等により公表いたします。
3. 個人情報は、以下の諸活動を遂行するために利用します。
 - ① 入校手続きに関する事務の処理、連絡および手続き
 - ② スクール活動全般に関する事務の処理、連絡および手続き
 - ③ 慶應義塾の施設・設備利用に関する事務の処理、連絡および手続き
 - ④ 慶應ラグビー倶楽部のご案内
 - ⑤ スクール生ないし保護者に送付する各種書類・E-Mail の発送および所連絡
 - ⑥ 上記①から⑤までに付随する事項
4. 上記 3 の活動のうち、一部の業務をスクールから当該活動の委託を受けた受託業者において行うことがあります。業務委託に当たり、受託業者に対して委託した業務を遂行するために必要となる範囲で、個人情報を提供することがあります。
5. 慶應ラグビー倶楽部から要請があったときは、個人情報を慶應ラグビー倶楽部に必要な範囲で提供することがあります。
6. スクールは、上記 3 ～ 5 の利用目的の他には、特にお断りする場合を除いて個人情報を利用もしくは第三者への提供をいたしません。ただし、法律上開示すべき義務を負う場合や、スクール生ないし保護者または第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を保護するために必要であると判断できる場合、その他緊急の必要があり個別の承諾を得ることができない場合には、例外的に第三者に個人情報を提供することがあります。